

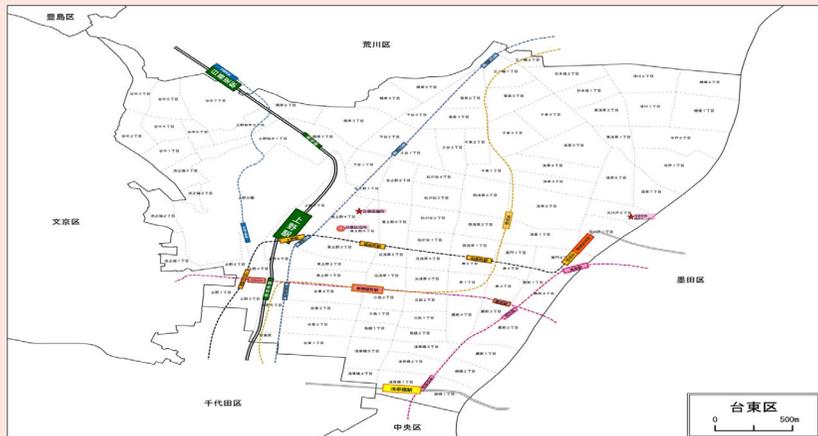
東京都台東区

精神障害者も安心して暮らせる仕組み作り

台東区では、精神障害者の方が地域で安心して生活ができるよう、関係機関と連携を図り支援ができるよう体制の構築を図ります。
主に、計画相談支援事業所の支援を実施しながら、関係機関との連携強化も図ります。

1 県又は政令市の基礎情報

東京都台東区



取組内容

- ・ 現在整理中

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R3年4月時点）	1	か所
市町村数（R3年4月時点）	1	市町村
人口（R3年4月時点）	203,988	人
精神科病院の数（R3年4月時点）	1	病院
精神科病床数（R3年4月時点）		床
入院精神障害者数（R1年6月時点）	合計	299 人
	3か月未満（%：構成割合）	63 人 21.1 %
	3か月以上1年未満（%：構成割合）	51 人 17.1 %
	1年以上（%：構成割合）	185 人 61.9 %
	うち65歳未満	63 人
	うち65歳以上	122 人
退院率（R1年6月時点）	入院後3か月時点	63.9 %
	入院後6か月時点	27.8 %
	入院後1年時点	8.3 %
相談支援事業所数（R3年4月時点）	基幹相談支援センター数	1 か所
	一般相談支援事業所数	1 か所
	特定相談支援事業所数	2 か所
保健所数（R3年4月時点）	1	か所
（自立支援）協議会の開催頻度（R2年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	2 回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R3年4月時点）	都道府県	有・無
	障害保健福祉圏域	有・無
	市町村	有・無
	1/1	か所/障害圏域数 か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

《令和3年度に取り組む事業》

①協議の場の設置

すでに設置している「台東区精神保健福祉推進協議会」において、本課題について協議を行っていく。

②措置及び医療保護等入院者への退院後支援の実施

東京都のガイドラインにそって、退院支援を実施していく。

③職員研修及び啓発事業の実施

行政職員をはじめ、精神障害者支援に携わる職員や高齢者支援委携わる職員など幅広く研修及び啓発を行う。

④地域の社会資源の見直し

区内にある精神障害者を主に支援している社会資源について、既存の役割を再度確認し新たな役割が担えるか検討する。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

(1) 経緯

令和3年3月に策定した「第6期台東区障害福祉計画」のなかで、障害者の地域生活支援を充実させるための施策として「地域生活支援体制の整備」を掲げた。この中で、精神障害者が地域お一員として安心して暮らすことができるよう、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を図るとした。

(2) これまでの取り組み

精神保健福祉推進協議会の実施

基幹相談支援センター及び区内計画相談事業所との連絡会の開始

措置入院後退院支援の実施

23条通報後の処遇調査

社会資源のマッピング

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和2年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R2年度当初)	実績値 (R2年度末)	具体的な成果・効果
①保健・福祉・医療による協議の場の設置	開催	開催	精神障害者が地域において適切に支援を受けられるよう区内に所在する各関係機関と意見交換を行い、連携を図ることを目的とし年1回開催する。
②病院への周知及び訪問	実施予定	実施予定	台東区民が主に入院している病院に対して、制度の周知及び訪問を実施することにより、退院支援窓口を把握してもらう。
③職員研修及び啓発事業の実施	実施予定	実施予定	令和3年5月に措置入院後の退院支援について報告会を実施した。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】
— 整理中 —

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
区内資源の再編成	区内に所在する支援施設(資源)の役割を再確認し、新たな役割担えるか検討する。	行政	検討素材の洗い出し、検討、検証
		医療	必要時に情報共有
		福祉	担っている役割の業務量を洗い出す
		その他関係機関・住民等	
退院支援窓口の周知	区民が主に入院をしている病院へリーフレットなどを活用し、退院支援の窓口を周知するとともに、適宜病院訪問を行い情報共有をする。	行政	リーフレットの作成、電話、郵送、訪問
		医療	適宜情報共有
		福祉	—
		その他関係機関・住民等	—

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和3年度末)	見込んでいる成果・効果
①計画相談月間利用人数	74人/月	77人/月	計画相談支援員の増(3障害含む数値)
②地域移行支援利用者数	3人/年	3人/年	退院支援祖積極的関与(精神障害のみの数値)
③			

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R3年6月	窓口の周知	<ul style="list-style-type: none">・リーフレットの作成・主な病院へのアプローチ又は訪問
7月	区内社会資源の再確認及びマッピング	<ul style="list-style-type: none">・期間相談支援センター及び計画相談事業所との連絡会実施・B型作業所との情報交換・主に少ない社会資源の掘り起こし
R4年1月	協議の場の開催	<ul style="list-style-type: none">・今年度実施したこと及び今後の方向性の報告、意見聴取・振り返り

モデル圏域から自治体全体への展開に向けた方針

自治体全体への展開に向けた方向性

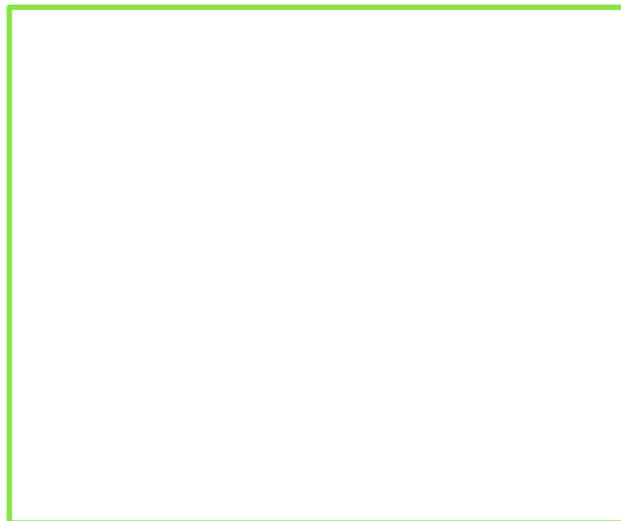
区内で取組を推進する体制等が変化している最中であり、
今後の方策については、短期・中期含め本事業を活用しながら
検討したいと考えている

<自治体全体への展開に向けた具体的な取組方針>

1年目(令和3年度)



2年目(令和4年度)



3年目(令和5年度)

